

オープンキャンパスが 開催されました 鳥取環境大学



学長三二講義

環境倫理学の第一人者である加藤尚武学長が、「環境と将来の生活」と題して、これからの環境問題のとらえ方や学問の学び方などをユーモアを交えながら講義。来場者も熱心に聞き入っていました。



体験授業

環境政策学科では、PCプロジェクターなどのメディア教材を利用し、私たちの生活に密接した環境問題についてわかりやすく説明。環境デザイン学科では、参加者が折り紙を使って実在する有名建築物の模型を作成したり、美しい居住空間デザインとは何かを考える講義。情報システム学科では、すべての授業がクイズや実習形式で行われ、参加者はパソコンを使ってオリジナルカレンダーを作成するなど工夫をこらした授業が行われました。

十月六日・七日の二日間、鳥取環境大学でオープンキャンパス（大学見学会）が開催されました。
県内はもちろん、遠くは北海道や関東、九州など全国各地から二日間で約八百人が来場。大学キャンパスは、各種の催しを楽しむ人々にぎわいました。福岡から参加したという環境デザイン学科志望の高校生は、「鳥取環境大学が第一志望です。在学生の人も明るく親切に対応してくれました。入学したら、環境に配慮した建築デザインを身につけたいと思います。」と語っていました。この模様は、鳥取環境大学ホームページ（<http://www.kanky-o-u.ac.jp/>）で紹介されています。
なお、オープンキャンパスは来年以降も随時実施される予定です。



在学生と語ろうコーナー

在学生の「生の声」が聞けるコーナー。北は北海道から南は沖縄まで全国から集まっている在学生が、熱心に授業やサークル活動、アルバイトなどのキャンパスライフを紹介していました。